

2023年12月の星空

中旬 21時頃

佐賀市

星空 かぐしゅうかん

★ 今月の天文現象とこよみ

- 4日 水星東方最大離角
- 5日 下弦の月
- 7日 大雪 (たいせつ)
- 13日 新月
- 15日 ふたご座流星群がピーク
- 20日 上弦の月
- 22日 冬至 (とうじ)
- 25日 クリスマス
- 27日 満月
- 31日 大晦日

ふたご座流星群は年間最大の流星群で、今年
は絶好の観察条件です。出現のピークは15日
2時頃で、14日深夜から未明には、80個/時
ほどの流れ星が期待できます。

木星

おひつじ座で-2.8等の明るさで輝きます。望遠鏡では、4
つのガリレオ衛星や縞模様を観察できます。

カシオペヤ座

北の空で「W」の形に星が並んでいるところで、北極星を見
つける目印になる星座です。

M45 すばる

おうし座の肩のあたりにある星団です。肉眼で6~7個の星
が集まってみえる場所です。

カペラ

ぎょしゃ座の一等星で、北東の空高くで、明るく輝いていま
す。冬の星座たちの中で最初に顔を出す一等星です。

宵空に木星が明るく輝きます。土星はそろそろ観察の終了です。
西は秋の星座、東は冬の星座が夜空を二分しています。おうし
座にある すばる (M45 星団) は、全天でも代表的な散開星団です。
さらに、頭上のアンドロメダ座にある大銀河 (M31 銀河) は、空
の暗いところでは、肉眼でも存在が分かります。

22日は冬至で夜が最も長くなり、この日以降は昼の長さが長く
なり始めます。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

